

令和6年度

第1回及び第2回五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略

市民検討委員会のまとめ

五泉市企画政策課

■開催概要

令和2年2月に策定した「第2次五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の推進にあたり、各事業の評価・検証を行うことを目的として開催しました。

この戦略の計画期間は令和6年度までとなっておりますが、国の総合戦略改訂の動き、新型コロナウイルスによる影響、総合計画との関係性を踏まえ、令和8年度まで延長することとしました。

意見交換では、4つの基本目標と交付金活用事業ごとに、数値目標・重要業績評価指標（KPI）達成に向けた取り組みの方向性や今後の展開、施策・事業の改善点などについて、ご意見・ご提案をいただきました。

日 時	第1回 令和6年7月19日（金）14時～16時05分 第2回 令和6年7月24日（水）14時～16時20分
会 場	五泉市市役所 4階 401 会議室
参加委員	第1回 11名 第2回 11名 （産学官金労言士の各分野計19名で構成）
内 容	●説明 （1）五泉市総合戦略について （2）総合戦略の計画期間延長及び検証方法について ●意見交換 令和5年度事業での「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」

■会議の様子



■意見交換「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」

基本目標	意見
I 未来世代を守り育てる	【基本方針 1】妊娠・出産・子育ての支援 ・結婚、出産を考えた時、五泉市は産科がないというのはデメリット。 ・市の施策が良いと言われても比較対象がなく、わかりづらい。どこが優れているかというのが明確にわかると良いと思う。 ・子育てのサポート体制は良いが、その前の出会いが課題なのではないかと考える。ハートマッチ新潟や市で行っている出会いのイベント等は、公がやっているということで信頼性が高いため、積極的にやっていただければと思う。 ・出会いの場については、入口のところ、一番大事だが、そこが一番難しい、そのうえで出会いの場の支援というものをどう根付かせていくか。 ・出会いのマッチングができたタイミングで、五泉市の魅力や施策も含め、五泉市の暮らしやすさをPRできれば、五泉に暮らしを築いていってもらえるのではない。 ・共働き夫婦が多い中で一時預かりが16時までなのは子育てを考えると難しいのではない。2か所しかないのであれば、もう少し増やせないのか。遅くまで勤めている方もいると思われるので、自宅から近いところに預けられれば子育ての一助になるのではないか。 【基本方針 2】教育の充実 ・基礎学力が向上したと感じるという指標があるが、学校で補えない部分はもう少し各ご家庭で見てもらいたい気持ちはある。共働き家庭が多く、難しさもあると思うが、子どもとの時間をもっととることも必要。その他様々な事業も考えられ、基礎学力向上に向けては課題も多い。 ・中学生については、受験時期になるまで進路や成績に関するディスカッションがない。もっと早い段階で子どもたちに目標を持たせ、どういう将来像があるか、どれくらいの基礎学力が必要かなどの意識づけをやれると良いと感じる。 ・中学生が今後、自分のなりたい姿、目指している姿を考えるときに、家族の中における親御さんとのコミュニケーションは重要であり、そのコミュニケーションを十分とれるような時間的・心理的ゆとりがあるかどうかという視点は重要と受け止めている。
II 産業の活力を高める	【基本方針 1】地場産業の振興・産業競争力の強化 ・新規就農者を増やすため、やりたいと意欲のある前向きにやっている方を市でもっと広報などで紹介してもらいたい。 ・農業における鳥獣被害は切実な状況。猟銃を使用できる人を育成するために補助金を出すとか、また、有害鳥獣駆除に対する報酬の見直しなど、対策をとっていただきたい。 ・スマート農業については、中山間地は取り組みづらいと感じる。そういう地域でも農家は一生懸命仕事をしているため、そういった部分も加味して推進していただきたい。 ・地域資源の活用の一つとして、もみ殻からシリカという化粧品向けの成分を取り出している企業がいた。もみ殻は減量化したものを撒くとか、コンクリートの材料になるというのがあるが、化粧品の材料として、ヨーロッパの化粧品企業と取引があったと聞いている。現在、環境に配慮した原料を入手したいという購買行動が非常に盛んで当たり前になってきているので、そういう製品や

	原料を企業も探している。五泉市も水田が多いので、参考にされたい。 ・もみ殻を炭化する施設を作って、地元の生産者の取組にフィードバックできる仕組みを作ると良いと考える。 ・住宅リフォーム補助事業については、ハウスメーカーや大工などもお客さんにPRしていけるため、続けていってもらいたい。 ・ブランド化計画の部分では認知は進み、Loop&Loop やうポルテ五泉、各社直販で行っているふるさと納税や EC の売り上げは少しずつ伸びてきており、この辺りの売上を増やしていければ良いと考える。 ・産業観光も視野に入れ、土日工場見学を受け入れるような動きを取り入れると良い。 ・観光に来られる多くの方は車を使用される。道案内もそうだが、駐車スペースを十分に確保ができるかが重要。行きたいというニーズがあっても、交通手段が確保できないとためらいもでるのではないかな。
Ⅱ 産業の活力を 高める	【基本方針 2】 就業環境の創出 ・20 歳のための地元ハローワーク事業では、ガイドブックやホームページだけでなく、若者はスマホを使っているので、そういった媒体からも企業 PR や市の紹介などができる手段があると良いのではないかな。 ・市内には金属加工メーカーがあるが工業高校出身の方の就職率が高い。合同企業説明会には五泉から距離のある工業高校からはなかなか来てもらえないため、難しいとは考えるが五泉市の高校にも工業科があると良い。 ・就職については、高校生 1 人に対して 4 社くらいの割合であり、高校生が企業を選べる状況である。学校の先生もこういう状態では生徒、親御さんにお任せで、学校側から積極的にこういう会社があるなどはしてないと感じる。実際に高校生がすべて、卒業して何をしたいかと考えているわけではないと考える。例えば市の広報からでも、その迷っている生徒に対して、ぜひ地元こういう会社があるからどうかという働きかけをしても良いのではないかな。
Ⅲ 五泉の魅力を つなげる	【基本方針 1】 地域の特性を活かした交流の推進 ・アロマ製品の 650 万円の売上目標がやや低いのではないかなと感じる。食べ物なども販売方法を変えたりすると売上が伸ばせるのではないかなという印象がある。 ・現在はネット社会で情報がどこからでも入手でき、それが消費に繋がる仕組みがたくさんある。行政だけでなく製品を作って販売している人がどのように発信していくかということも大事なことになるのではないかな。 ・ごせん桜アロマ工房は村松公園の端にあるため、桜の季節以外に人がなかなか来ないという課題があるが、ジェラートなどももっと知ってもらい、評判になるよう、取り組んでいく必要があると感じるが、天然の桜から抽出したエキスのため、匂いや味が強いものではなく、他との差別化が難しいところでもある。 ・シティプロモーションで一番大事なのはプロモーションのコンテンツを作って終わりではなく、どこに、どんな人にどうやって届けるのかということ。誰を五泉に呼び込みたいのかというターゲティングの問題もある。 ・I ターン、U ターンについても、どこから誰を連れてきたいのかというところに焦点を置いて絞って戦略を立てていくことが必要。例えば、アロマ製品として、東京日本橋などにある施設を活用してテストマーケティング的に販売して感想を聞く方法もある。ニットしかり、里芋麺しかり、そういうものを関東圏でどういう反応が出るかテストマーケティングかつ関東の人たちを誘致する

	ための観光プロモーションを行ってはどうか。 ・コンテンツをどう発信していくか、積極的に対外的にいろんなところに広げていくのが大事かと考える。 ・農業関係は農産物・特産物を日本橋など関東圏に売り込みに行っている。五泉には五泉応援団もあるので、その皆さんとさらに交流を増やしていけると良い。 【基本方針 2】地域の魅力を活かした移住の推進 ・ウェルカムファミリー住まいる事業を活用した方は、補助金の活用を目的として五泉に来たのか、本当に五泉が魅力的で来たのかということは把握しているか。来られた方が何で五泉に来たのか、自然が良くて来たのか、農産物が良くて来たのか、明確にわかるようであればそういう経験則を全面的に出してPRしていった方が良い。なおかつ、補助金というプラスアルファもあるということを出していき、財政難かもしれないが、少子化対策で大事なことを考えるため、大いに有効活用していただきたい。 ・市外から五泉市にきていただくというのに住宅補助金は良いと考える。五泉は地価もそれなりに手ごろな値段である。そこをアピールして、補助金を活用してもらえると、五泉であれば住宅の取得はしやすいというところがメリット・強みとしてあると感じる。 ・五泉市からであれば、市外へも通いやすいということもある。土地が安い、自然豊か、子育てにも手厚く、いろいろ行政でも対応しているので、この物価高の中ではあればなおさら五泉市は住みやすいまちだということをPRしていくと良いと考える。 ・情報発信を行う上で、五泉に移り住んだ方が自ら五泉の魅力を発信するというのは大変効果があることと考える。
IV 確かな暮らし を充たす	【基本方針 1】未来へつながる安全・安心なまちづくり ・特定健診については、電話とインターネット予約になったが、インターネットで予約をする人が少なく、電話が鳴りやまないと聞いた。高齢者の方々にはインターネットは難しいと考えるので、電話の回線を増やすなどしていただき、来年も健診の受診率の向上を図っていただきたい。 ・バスやタクシーのドライバーは全国的に不足している。この数年コロナで生活スタイル、行動スタイルがガラリと変わったこともあり、深夜早朝の利用者は非常に減少している。新潟県だけでなく、全国的にどんどん縮小しており、深夜早朝を減便しないとドライバーが確保できない。ドライバー不足に対しては二種免許を取るにも費用がかかるため、補助金を出したり、PRを行いながら少しでも増やそうと取り組んでいるが、人を乗せるというのは、精神的にも大変な仕事のため、なかなかドライバーが増えない状況である。 ・公共交通については、市内でこれ以上広げることは難しいと考える。要望は多くあると思うが、人口が減少する中で利用者が少なくなってきており、その声をどう拾っていくか、時刻なり、コースなり検討していく必要はある。運行している方としては、どうしても経費がかかるため、補助がないと運行できない状態である。皆さんからはご理解いただき、ご利用いただきたい。
交付金活用 事業	【ラポルテ五泉管理運営事業】 ・ラポルテ五泉のような集える場所は今少なく、いろんな可能性を秘めており、かなりのアドバンテージがある。五泉の知見を集めて、活用していくフェーズに入っている。

	・地域活性化には住んでいる人たちが楽しむというところと、外から人を呼ぶという二つの面があり、どちらに舵を切っていくのか明確にしながら戦略と戦術をたてて PDCA を回していけば活用が広がると考える。 ・イベントを開催するときに駐車場がないという話も聞く。駐車場を拡大していかないとこれからのイベントが難しくなってくるのではないかな。 ・地元をアピールするイベントを行う時に、まちの人しか集まらないイベントになりがちのため、市外の人たちから来てもらえるようなイベントをもう少しどう考えていくか。ラポルテ五泉に来た人が、直接人口増加に繋がるわけではないが、もう少し市外の人たちを呼び込み、来ていただけるようになると良い。 ・お花に関するサミットや学会などを開催してはどうか。大学の中には研究者、学生がいるので、そのような人が集まり、施設を視察する。こんな関係人口の作り方も良いのではないかと考える。 ・飽きない食行動をとれる場所に人は訪れると考えており、ラポルテ五泉に来て五泉に滞在する時間を増やしていくには食との掛け算となるものがあると来訪者の消費購買行動も促進されるのではないかな。 ・五泉はお酒や野菜など良いものがあるため、それを複合した商品などがあると、買った人はまた五泉に来ていただけるのではないかな。 ・ラポルテ五泉の室内遊具はアドバンテージ。特に今、猛暑でなかなか子どもを外で遊ばせられない。そうすると、室内の温度が管理されたところで子どもを十分に楽しませられる場所があるということは大きい。室内施設も、飽きられないように時々工夫をし、リニューアルしたり、場合によっては拡張するのも良いと考える。隣接するところに公園のようなものがあると相乗効果でよりラポルテ五泉に人が来ていただけるのではないかな。
総合戦略全体	・議会について、インターネットで見ることが出来るが、見逃した時に見れないため YouTube など後からでも見れると良い。 ・五泉市出身のアニメーション作家がいらっしゃる。五泉市も花だけでなく、アニメとかそういった魅力づくりのような講演会などもできたら面白いのではないかな。 ・KPI 達成困難のものについては、やめる判断も必要と考える。